

ストリングの基礎知識

From テニサポ



知っているようで、あまり知られていないストリングのこと。このコーナーでは、読者から寄せられた素朴な疑問を、プロのストリンガーに答えてもらいました。皆さんのテニスライフの向上に役立ててください！

解説=小笠原爽太(テニスサポートセンター仙川店)
ストリンガー歴、店舗では6年、自宅で張っていた時期を合わせたら11年。現在は大前綾希子選手など、複数のプロ選手の張りを担当する。
写真=テニスサポートセンター、スマッシュ

【今月のお題】 ロールで購入する利点と、ラケットを複数所有するケースについて

コストパフォーマンスに優れるロールだが、ストリングの張り替え頻度や自分のレベルなどを考えた上で購入すべきだ



Q ロールはコスパがいいが、発展途上の人には不向き

まずは、メリットについて説明させていただきます。当たり前ですが、単張りで購入するよりも、1回当たりの単価が安くなるのが大きなメリットになります。また、メーカーによっては、新商品の発売に伴って、販売をやめてしまうストリングもありますので、本当に気に入っているストリングでしたら、ロールで購入した方が良いと思います。テニスサポートセンターでも実施していますが、テニスショップにロール

ストリングをロールで購入するメリットと、デメリットは何ですか？
(テニス歴4年/社会人男性)

を預けることもできるので、張り替え頻度が高い人にはお勧めです。反対にデメリットとしては、自分のテニスのレベルが上がったり、ケガなどによってストリングを変えたい場合には、ロールで買ってしまったストリングが無駄になってしまうこともあります。

ロールを購入した場合、少なくとも10回分、多くて20回分同じストリングを張ることができのですが、ストリングにも食品のように品質を維持できる期限があります。長期間使わないと劣化や変色してしまうこととなります。

テニスのレベルが発展途上の人には多少コストはかかりますが、ストリンガーに相談して、自分自身のレベルに合わせたストリングを単張りで購入した方がいいと思います。

◎ 試合のことを考えて同じラケットを2本買いました。ストリングの張り方や、使い分けの方法などを、教えてください。
(テニス歴2年/高校生)

2本なら同じ設定 勝ちたいなら3本欲しい

同じラケットを2本持って試合をするのならば、ラケットには同じストリングを同じテンション(張る強さ)で張ることをお勧めします。もしも試合中にストリングが切れてしまったら、違うストリングや違うテン

ションでセッティングしている場合、残りの1本で試合をしなければならなくなり、それまでの打感やボールの飛びが変わってしまい、ゲームに集中できなくなってしまふ恐れがあるからです。

金銭的な問題もありますが、本当に勝ちたい試合なら、ラケットを3本用意した方が試合を優位に進めることができます。テレビでテニスの試合を見ていると、選手がラケットを交換するシーンを見たことがあると思います。これは天候の変化や自分の調子、相手のプレースタイルに合わせて、テンションを若干変えたラケットに交換しているのです。

同じラケットに同じストリングを張っていても、テンションが違えばボールの飛びやスピンの量が変わります。だからボールが少しだけアウトするような状況の時に、交換できるラケットがあれば、試合ではかなり有利になります。安い中古ラケットもありますので、何とか3本揃えてみてもらえれば、その利点がわかると思います。一般のプレーヤーでも、強い選手はラケットを3本以上持っています。

また練習の時なら、同じラケットに同じストリングで違うテンションで張ったり、違うストリングで同じテンションで張ったりして、試合に備えて、自分に合ったセッティングを探ることもできます。

これは、捕足になります。張りがたてのラケットだとそれまで練習で使っていたストリングの打感と少し感覚が変わってしまうので、試合期間の少し前に張り替えてなじませるのもいいと思います。

都市伝説 ストリング

同じストリングでも、色によって打感が変わる!?

変わります。ただ全く違う打感になるわけではなく、少し硬くなったり、少し柔らかくなったりする程度です。基本的にストリングに色を入れる場合、ストリングの素材に染料や顔料を加えて着色していきます。その際、染料や顔料の分量でわずかに性能差ができるので、その差が打感に影響しているのだと考えられています。例えばあるメーカーでは、同じストリングで色違いを作る予定でしたが、打感が変わってしまったという理由から、商品の名前を変えて販売したという話があります。



試合中のアクションで備えるため同じ設定のラケットが2本必要だが、本当に勝ちたいなら3本以上は揃えたいところだ